中学校歴史 単元別学習 90 問

第 5 単元 武士の政権の成立と鎌倉幕府

範囲：平氏と源氏／鎌倉幕府と執権政治／元寇／鎌倉の仏教と文化
用語を確かめ、出来事の順序や、暮らし・政治・文化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

武士の成長と平氏の政治

問 1　土地や一族を守るため武装し、戦いを専門とするようになった人々は何か。

問 2　有力な武士を中心に、武士たちがまとまった集団を何というか。

問 3　1156 年に朝廷内の対立から起こり、平清盛や源義朝らが戦った争いは何か。

問 4　1159 年に起こり、平清盛が源義朝らを破って力を強めた争いは何か。

問 5　武士として初めて太政大臣となり、平氏の全盛期を築いた人物は誰か。

問 6　1167 年に平清盛が就いた、朝廷の最高の官職は何か。

問 7　平清盛が盛んにした、日本と中国の宋との貿易を何というか。

問 8　平清盛が日宋貿易のために整備した、現在の神戸市にある港は何か。

問 9　1180 年に平氏に対して挙兵し、鎌倉を拠点に東国の武士をまとめた人物は誰か。

問 10　1185 年に源義経らの軍が平氏を滅ぼした、下関付近での戦いは何か。

鎌倉幕府の成立と仕組み

問 11　源頼朝が鎌倉に築いた、武士を中心とする政権を何というか。

問 12　1192 年に源頼朝が朝廷から任命された、武士を率いる役職は何か。

問 13　鎌倉幕府の将軍と主従関係を結んだ武士を何というか。

問 14　将軍が御家人の土地を保障したり、新たな土地を与えたりすることを何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　御家人が将軍のために軍役や警備などを務めることを何というか。

問 16　国ごとに置かれ、軍事・警察の仕事を担った幕府の役職は何か。

問 17　荘園や公領に置かれ、土地の管理や年貢の徴収などを行った役職は何か。

問 18　幕府で御家人を統率し、軍事や警察の仕事を担った役所は何か。

問 19　幕府で財政などの政務を扱った役所は何か。

執権政治と裁判と武士社会

問 20　幕府で訴訟を扱った役所を何というか。

問 21　将軍を補佐し、北条氏が代々就いて政治の実権を握った役職は何か。

問 22　源頼朝の妻で、承久の乱の際に御家人へ結束を呼びかけた女性は誰か。

問 23　承久の乱の際、幕府の中心にいた北条氏の執権は誰か。

問 24　1221 年に北条義時を討とうとして兵を挙げた上皇は誰か。

問 25　1221 年に起こり、幕府が後鳥羽上皇側を破った争いは何か。

問 26　承久の乱後、朝廷の監視や西国の統制のため京都に置かれた機関は何か。

問 27　1232 年に御成敗式目を定めた、第 3 代執権は誰か。

問 28　武士の慣習などをもとに、1232 年に定められた武家の法律は何か。

問 29　武士の一族をまとめ、所領の管理や軍役などで中心となった人を何というか。

元寇と幕府の衰え

問 30　日本に服属を求め、二度の遠征軍を送ったモンゴル帝国の皇帝は誰か。

問 31　フビライが 1271 年に定めた、中国を支配した王朝の国号は何か。

問 32　1274 年と 1281 年に、元と高麗などの軍が日本を攻めた出来事を何というか。

問 33　1274 年の最初の元軍の襲来を何というか。

問 34　1281 年の二度目の元軍の襲来を何というか。

問 35　元寇の際、幕府の中心となって対応した執権は誰か。

問 36　1297 年に幕府が出した、御家人が手放した土地の取り戻しを認める法は何か。

問 37　14 世紀に、鎌倉幕府を倒す運動を進めた天皇は誰か。

鎌倉の新しい仏教

問 38　念仏を唱えて阿弥陀仏の救いを願う浄土宗を開いた僧は誰か。

問 39　法然に学び、浄土真宗の開祖とされる僧は誰か。

問 40　踊念仏などを広め、時宗を開いた僧は誰か。

問 41　法華経を重んじ、題目を唱える日蓮宗を開いた僧は誰か。

問 42　宋で禅を学び、日本に臨済宗を伝えた僧は誰か。

問 43　宋で学び、ひたすら坐禅する教えを説いて曹洞宗を伝えた僧は誰か。

問 44　臨済宗や曹洞宗など、坐禅を重んじる仏教の系統を何というか。

鎌倉文化と人々の生活

問 45　平氏の栄華と滅亡を描き、武士の活躍も伝える軍記物語は何か。

問 46　平家物語を琵琶の演奏に合わせて語り広めた人々を何というか。

問 47　後鳥羽上皇の命で、藤原定家らが編集した勅撰和歌集は何か。

問 48　兼好法師が人生や社会への見方などを記した随筆は何か。

問 49　東大寺南大門の金剛力士像の制作で知られる、代表的な仏師を二人答えなさい。

問 50　同じ耕地で、1 年に米と麦など二種類の作物を順に栽培することを何というか。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　平氏の台頭から頼朝の挙兵へ

ア 保元の乱が起こる　　イ 平清盛が太政大臣となる
ウ 平治の乱が起こる　　エ 源頼朝が挙兵し、鎌倉を拠点にする

問 2　頼朝の政権の仕組みを整える

ア 頼朝が守護・地頭の設置を認められる　　イ 頼朝が征夷大将軍に任命される
ウ 源頼朝が挙兵し、鎌倉を拠点にする　　エ 公文所と問注所が置かれる

問 3　平氏の滅亡から頼朝の死まで

ア 頼朝が奥州藤原氏を滅ぼす　　イ 壇ノ浦の戦いで平氏が滅ぶ
ウ 源頼朝が亡くなる　　エ 頼朝が征夷大将軍に任命される

問 4　武士の統率から朝廷との対決へ

ア 頼朝が侍所を置く　　イ 公文所と問注所が置かれる
ウ 頼朝が征夷大将軍に任命される　　エ 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ

問 5　頼朝の政治から承久の乱へ

ア 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ　　イ 頼朝が守護・地頭の設置を認められる
ウ 第 3 代将軍の源実朝が暗殺される　　エ 源頼朝が亡くなる

問 6　将軍の交代と執権政治

ア 源頼朝が亡くなる　　イ 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ
ウ 北条泰時が御成敗式目を定める　　エ 第 3 代将軍の源実朝が暗殺される

問 7　承久の乱から二度の元寇へ

ア 弘安の役が起こる　　イ 文永の役が起こる
ウ 北条泰時が御成敗式目を定める　　エ 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　武家の法律とモンゴル帝国

ア 北条泰時が御成敗式目を定める　　イ 文永の役が起こる
ウ フビライが国号を元と定める　　エ フビライが皇帝に即位する

問 9　元の成立と日本の防衛

ア 弘安の役が起こる　　イ フビライが国号を元と定める
ウ 文永の役が起こる　　エ 博多湾岸に元寇防塁が築かれる

問 10　元寇と御家人の救済

ア 永仁の徳政令が出される　　イ 博多湾岸に元寇防塁が築かれる
ウ 文永の役が起こる　　エ 弘安の役が起こる

問 11　幕府の法と鎌倉時代の終わり

ア 永仁の徳政令が出される　　イ 北条泰時が御成敗式目を定める
ウ 弘安の役が起こる　　エ 鎌倉幕府が滅びる

問 12　武士の政治の発展と変化

ア 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ　　イ 頼朝が守護・地頭の設置を認められる
ウ 平清盛が太政大臣となる　　エ 鎌倉幕府が滅びる

問 13　新しい仏教と武家の時代へ

ア 南大門の金剛力士像が造られる　　イ 新古今和歌集が編まれる
ウ 頼朝が征夷大将軍に任命される　　エ 法然が浄土宗を開く

問 14　彫刻と文学と禅の広がり

ア 鴨長明が方丈記を著す　　イ 南大門の金剛力士像が造られる
ウ 道元が宋から帰国して禅を伝える　　エ 新古今和歌集が編まれる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　文学と法律と新しい仏教

ア 鴨長明が方丈記を著す　　イ 新古今和歌集が編まれる
ウ 北条泰時が御成敗式目を定める　　エ 日蓮が教えを説き始める

問 16　仏教の広がりと元寇

ア 法然が浄土宗を開く　　イ 道元が宋から帰国して禅を伝える
ウ 文永の役が起こる　　エ 日蓮が教えを説き始める

問 17　モンゴル帝国と東アジア

ア フビライが国号を元と定める　　イ 弘安の役が起こる
ウ 元が南宋を滅ぼす　　エ フビライが皇帝に即位する

問 18　武家の支配と裁判の仕組み

ア 永仁の徳政令が出される　　イ 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ
ウ 北条泰時が御成敗式目を定める　　エ 頼朝が守護・地頭の設置を認められる

問 19　朝廷と武士と外国との戦い

ア 承久の乱で幕府が上皇側に勝つ　　イ 壇ノ浦の戦いで平氏が滅ぶ
ウ 弘安の役が起こる　　エ 保元の乱が起こる

問 20　鎌倉幕府の長い流れをたどる

ア 北条泰時が御成敗式目を定める　　イ 鎌倉幕府が滅びる
ウ 源頼朝が挙兵し、鎌倉を拠点にする　　エ 文永の役が起こる

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　平安時代の後半から武士の力が強まったのはなぜか。土地を守ることと、朝廷や貴族との関係の二つの面から説明しなさい。

問 2　平清盛は、武力のほかにどのような方法で力を強めたか。朝廷との関係と貿易の面から説明しなさい。

問 3　源頼朝が東国の武士をまとめて鎌倉に政権を築けた背景を、武士たちが土地について求めていたことと結び付けて説明しなさい。

問 4　将軍と御家人の関係を、「御恩」「奉公」の語を使い、土地と軍役などの具体例を挙げて説明しなさい。

問 5　守護と地頭は、置かれた場所と主な仕事がどう違うか。それぞれについて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　侍所・政所・問注所は、それぞれどのような仕事を担ったか。三つを区別して説明しなさい。

問 7　頼朝の死後、北条氏はどのような立場で幕府の実権を握ったか。「将軍」「執権」の語を使って説明しなさい。

問 8　承久の乱に勝ったことは、幕府の支配にどのような変化をもたらしたか。京都と西国への影響を含めて説明しなさい。

問 9　北条泰時が御成敗式目を定めたのはなぜか。「武士の慣習」「裁判」の語を使って説明しなさい。

問 10　御家人にとって土地が大切だったのはなぜか。また、土地を子どもたちに分けて相続することは、生活にどのような影響を与えたか。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　二毛作とはどのような農業か。また、農業生産が増えることは、定期市などの取引にどのようにつながったか。

問 12　法然や日蓮らの新しい仏教が、武士や庶民にも広がったのはなぜか。社会の様子と、教えの実践方法から説明しなさい。

問 13　念仏を重んじる浄土宗などの教えと、臨済宗・曹洞宗などの禅宗は、実践の中心にどのような違いがあるか。

問 14　東大寺南大門の金剛力士像など、運慶・快慶らの彫刻には、どのような特徴があるか。武士の気風と関連付けて説明しなさい。

問 15　文永の役の後、幕府が博多湾岸に石塁を築いたのはなぜか。次の襲来で果たした役割と結び付けて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　元寇で戦った御家人の間に、幕府への不満が強まったのはなぜか。戦いの負担と、御恩の面から説明しなさい。

問 17　発展　鎌倉幕府の成立は、一つの出来事だけで説明できるか。資料の三つの出来事が持つ意味を使って説明しなさい。

資料　1180 年：頼朝が鎌倉を拠点にする／1185 年：守護・地頭の設置が認められる／1192 年：頼朝が征夷大将軍となる

問 18　発展　「御成敗式目ができると、律令や朝廷の法は全国でなくなった」という説明は適切か。武士と朝廷の関係から説明しなさい。

問 19　発展　「鎌倉時代の文化は武士の文化だけだった」といえるか。資料の二つの作品を使って説明しなさい。

資料　平家物語：武士の活躍などを描く軍記物語／新古今和歌集：後鳥羽上皇の命で編集された勅撰和歌集

問 20　発展　永仁の徳政令は何をねらった法か。また、その法だけでは御家人の困窮を解決しきれなかったのはなぜか。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	武士	26	六波羅探題
2	武士団	27	北条泰時
3	保元の乱	28	御成敗式目
4	平治の乱	29	惣領
5	平清盛	30	フビライ・ハン
6	太政大臣	31	元
7	日宋貿易	32	元寇
8	大輪田泊	33	文永の役
9	源頼朝	34	弘安の役
10	壇ノ浦の戦い	35	北条時宗
11	鎌倉幕府	36	永仁の徳政令
12	征夷大将軍	37	後醍醐天皇
13	御家人	38	法然
14	御恩	39	親鸞
15	奉公	40	一遍
16	守護	41	日蓮
17	地頭	42	栄西
18	侍所	43	道元
19	政所	44	禅宗
20	問注所	45	平家物語
21	執権	46	琵琶法師
22	北条政子	47	新古今和歌集
23	北条義時	48	徒然草
24	後鳥羽上皇	49	運慶・快慶
25	承久の乱	50	二毛作

認められる表記の例

問 8：大輪田の泊も可。問 28：貞永式目も可。問 30：クビライ・ハンなども可。
問 32：蒙古襲来も可。問 38：源空も可。問 47：新古今集も可。
問 49：順不同。湛慶・定覚など、制作に関わった仏師も可。

解答 STEP 2 並び替え

「前」は紀元前を表します。古代の年代は目安を含み、地域によって変化の時期は異なります。

番号	答え	解説
1	ア→ウ→イ→エ	保元の乱（1156 年） → 平治の乱（1159 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年） → 頼朝の挙兵と鎌倉への進出（1180 年）
2	ウ→エ→ア→イ	頼朝の挙兵と鎌倉への進出（1180 年） → 公文所・問注所の設置（1184 年。公文所は後の政所） → 守護・地頭の設置の承認（1185 年） → 頼朝の将軍任命（1192 年）
3	イ→ア→エ→ウ	壇ノ浦の戦い（1185 年） → 奥州藤原氏の滅亡（1189 年） → 頼朝の将軍任命（1192 年） → 頼朝の死（1199 年）
4	ア→イ→ウ→エ	侍所の設置（1180 年） → 公文所・問注所の設置（1184 年。公文所は後の政所） → 頼朝の将軍任命（1192 年） → 承久の乱（1221 年）
5	イ→エ→ウ→ア	守護・地頭の設置の承認（1185 年） → 頼朝の死（1199 年） → 源実朝の暗殺（1219 年） → 承久の乱（1221 年）
6	ア→エ→イ→ウ	頼朝の死（1199 年） → 源実朝の暗殺（1219 年） → 承久の乱（1221 年） → 御成敗式目の制定（1232 年）
7	エ→ウ→イ→ア	承久の乱（1221 年） → 御成敗式目の制定（1232 年） → 文永の役（1274 年） → 弘安の役（1281 年）
8	ア→エ→ウ→イ	御成敗式目の制定（1232 年） → フビライの皇帝即位（1260 年） → 元という国号の制定（1271 年） → 文永の役（1274 年）
9	イ→ウ→エ→ア	元という国号の制定（1271 年） → 文永の役（1274 年） → 元寇防塁の築造（1276 年から） → 弘安の役（1281 年）
10	ウ→イ→エ→ア	文永の役（1274 年） → 元寇防塁の築造（1276 年から） → 弘安の役（1281 年） → 永仁の徳政令（1297 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	イ→ウ→ア→エ	御成敗式目の制定（1232 年） → 弘安の役（1281 年） → 永仁の徳政令（1297 年） → 鎌倉幕府の滅亡（1333 年）
12	ウ→イ→ア→エ	平清盛の太政大臣就任（1167 年） → 守護・地頭の設置の承認（1185 年） → 承久の乱（1221 年） → 鎌倉幕府の滅亡（1333 年）
13	エ→ウ→ア→イ	浄土宗の開宗（1175 年） → 頼朝の将軍任命（1192 年） → 東大寺南大門の金剛力士像（1203 年） → 新古今和歌集の成立（1205 年ごろから）
14	イ→エ→ア→ウ	東大寺南大門の金剛力士像（1203 年） → 新古今和歌集の成立（1205 年ごろから） → 方丈記の成立（1212 年） → 道元の帰国（1227 年）
15	イ→ア→ウ→エ	新古今和歌集の成立（1205 年ごろから） → 方丈記の成立（1212 年） → 御成敗式目の制定（1232 年） → 日蓮の立教開宗（1253 年）
16	ア→イ→エ→ウ	浄土宗の開宗（1175 年） → 道元の帰国（1227 年） → 日蓮の立教開宗（1253 年） → 文永の役（1274 年）
17	エ→ア→ウ→イ	フビライの皇帝即位（1260 年） → 元という国号の制定（1271 年） → 南宋の滅亡（1279 年） → 弘安の役（1281 年）
18	エ→イ→ウ→ア	守護・地頭の設置の承認（1185 年） → 承久の乱（1221 年） → 御成敗式目の制定（1232 年） → 永仁の徳政令（1297 年）
19	エ→イ→ア→ウ	保元の乱（1156 年） → 壇ノ浦の戦い（1185 年） → 承久の乱（1221 年） → 弘安の役（1281 年）
20	ウ→ア→エ→イ	頼朝の挙兵と鎌倉への進出（1180 年） → 御成敗式目の制定（1232 年） → 文永の役（1274 年） → 鎌倉幕府の滅亡（1333 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 武士が力を強める背景	土地や一族を武力で守るために武士団をつくり、朝廷や貴族から反乱の鎮圧や警備も任されることで、政治上の力を強めた。	土地・一族の防衛と、朝廷や貴族が鎮圧・警備を頼ったことの両方を示す。
問 2 平清盛の政治の進め方	朝廷の高い官職に就き、娘を天皇の后にするなどして天皇家と結び付いた。また、日宋貿易を盛んにして富を得た。	官職や婚姻による朝廷との結び付きと、日宋貿易による富の両方を示す。
問 3 東国の武士と鎌倉	東国の武士たちは自分たちの土地を保障してくれる支配者を求めていた。頼朝は土地の保障などを通して彼らの支持を集め、鎌倉を拠点に政権を築いた。	土地の保障を求める東国武士の支持と、頼朝の政権づくりを結び付ける。
問 4 御恩と奉公	将軍は御恩として御家人の土地を保障したり新たな土地を与えたりした。御家人は奉公として、戦いへの参加や警備などを務めた。	土地の保障・給与という御恩と、軍役・警備などの奉公を正しく対応させる。
問 5 守護と地頭の違い	守護は国ごとに置かれ、軍事・警察の仕事を担った。地頭は荘園や公領に置かれ、土地の管理や年貢の徴収などを行った。	国と荘園・公領という単位の違いと、軍事・警察と土地管理・徴税の違いを示す。
問 6 幕府の三つの役所	侍所は御家人の統率や軍事・警察、政所は財政などの政務、問注所は訴訟に関する仕事を担った。	侍所は軍事・警察、政所は政務・財政、問注所は訴訟と正しく対応させる。
問 7 執権政治の仕組み	北条氏は将軍を補佐する執権の地位に代々就き、将軍を支える立場から幕府の政治の実権を握った。	北条氏が将軍ではなく、将軍を補佐する執権として実権を持ったことを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 承久の乱の影響	幕府は京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し、上皇側から没収した土地へ新たに地頭を置くなどして、西国にも支配を広げた。	六波羅探題による朝廷の監視と、地頭などを通じた西国支配の拡大を示す。
問 9 御成敗式目を定める理由	土地などをめぐる争いを公平に解決できるよう、武士の慣習や源頼朝以来の先例をもとに、裁判の基準を明確にするため。	武士の慣習・先例をもとに、裁判の基準を定める目的を示す。
問 10 土地と御家人の生活	土地からの収入で生活や軍役の費用をまかなったため大切だった。分割相続が重なると一人分の土地が狭まり、収入が減って生活が苦しくなった。	土地収入と生活・軍役の関係、分割相続による一人当たりの所領の縮小を示す。
問 11 農業と取引の発達	同じ耕地で、1 年に米と麦などを順に作る農業である。生産が増えると売るための作物なども増え、定期市での交換や売買が盛んになった。	同じ耕地で年に二種類の作物を作ることと、生産増加から取引の発達への関係を示す。
問 12 新しい仏教が広がる理由	戦乱や災害などで不安を抱く人々に、救いへの道を示したため。念仏や題目を唱えるなど、実践の方法が分かりやすかったことも広がりにつながった。	社会の不安や救いへの願いと、取り組みやすい実践方法の両方を示す。
問 13 念仏と禅の修行	浄土宗などは阿弥陀仏を信じ、念仏を唱えて救いを願う。禅宗は坐禅などの修行を重んじ、自分の心や生き方を見つめる。	念仏・阿弥陀仏への信仰と、坐禅を中心とする修行の違いを示す。
問 14 鎌倉時代の彫刻	筋肉や動きなどを写実的に表し、力強さや迫力を感じさせる彫刻で、武士の力強い気風にも合う特徴を持つ。	写実的な表現と力強さを挙げ、武士の気風との関係にも触れる。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 元寇への防御の工夫	再び来る元軍の上陸を防ぐために築いた。弘安の役では御家人の戦いとともに防御の役割を果たし、元軍が上陸するのを妨げた。	次の襲来への備えと、弘安の役での上陸阻止という役割を示す。
問 16 元寇後の御家人の不満	戦いの費用や長く続く警備を負担した一方、防衛戦で新たな土地を得られず、幕府から十分な土地の恩賞を受けられなかったため。	戦費・警備の負担と、十分な土地の恩賞が得にくかったことを結び付ける。
問 17 幕府成立の過程を考える	一つだけでは説明しきれない。鎌倉を拠点に武士をまとめ、守護・地頭で支配を広げ、将軍に任命されるなど、政権の仕組みは段階的に整った。	拠点の形成、守護・地頭による支配、将軍任命の意味を挙げ、段階的な成立を示す。
問 18 武家法と朝廷の法	適切ではない。御成敗式目は主に幕府や武士社会の裁判の基準であり、朝廷の法や寺社などの法も続いた。幕府の法だけで全国が統一されたわけではない。	武士社会の法であることと、朝廷や寺社などの法も続いたことを示す。
問 19 鎌倉文化の多様さ	いえない。平家物語のように武士の活躍を描く作品が広がる一方、新古今和歌集のように朝廷や貴族による和歌の文化も続いていた。	武士に関わる文化の発展と、朝廷・貴族の文化の継続を両方示す。
問 20 徳政令のねらいと限界	手放した土地を取り戻させて御家人を救おうとした。しかし、所領の縮小や軍役などの負担は残り、御家人への貸し付けが敬遠される問題も生じたため。	土地の取り戻しによる救済と、負担の継続や借りにくさなどの限界を示す。